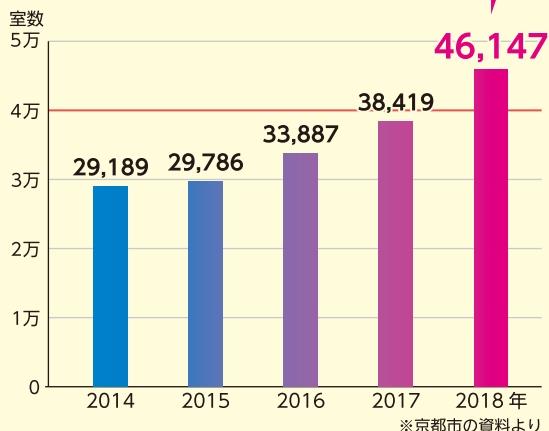


# ホテル・「民泊」 建設ラッシュ

# 「観光公害」で 京の住環境悪化!

市の目標4万室を超過!  
建設予定を合わせると  
なんと5万3千室にも

京都市内の宿泊施設の客室数推移



地価高騰  
住み続けられない  
子育て世代は市外へ

市バスが満杯で  
乗れない  
路地奥まで「民泊」!  
「安心して暮らせない」

「混雑しすぎ」  
日本人観光客は  
減りつづけ…



「住んでよし、  
訪れてよし」の京都に

## 日本共産党 市会議員団

### 市民と共同して「違法民泊」 「住民合意なき簡易宿所」 設置をくい止める

民泊対応ハンドブック配布、民泊実態調査、シンポジウム・懇談会を繰り返し行い、管理者常駐など規制強化のための条例を提案しました。



京まちシンポジウム(2018年11月18日)

### 「安心して住み続けられる 京都へ」まちづくり緊急提 言を昨年11月に発表。

観光客数、宿泊施設などに総量規制をかけること、宿泊施設に対する規制強化などを求めています。



民泊、簡易宿所の実態調査(2018年8月)



- 1 2017年 3月 住民のための「民泊」対応ハンドブック
- 2 2017年12月 「民泊」についての提案
- 3 2018年 7月 住民のための「民泊」対応事例集
- 4 2019年 1月 京のまちづくり緊急提言

## 国政と 連携して

## 日本共産党国会議員の論戦

### まちを守るためにはホテル・簡易宿所・「民泊」への厳しい規制を

「自治体による民泊・簡易宿所への厳しい規制を」を強く求める

(2017年12月厚生労働委員会)

都道府県、政令市、中核市、特別区154自治体のうち、54自治体で営業できる区域や期間の制限を含む条例を制定し規制強化に踏み出しています。

「簡易宿所が違法状態で悪影響を与えているものもある」「入口で規制が必要」と強く求める

(2018年7月厚生労働委員会)

国務大臣は、「ご指摘のように京都の美しい町並みをしっかり守っていくことは大変大事」と答弁。